

普賢 Fugen

徒然寺報



発行所：天台宗高龍山明王院普賢寺
発行人：普賢寺 広報部
〒183-0004 東京都府中市紅葉丘2-26-4
電話 042-369-2278 /FAX : 042-336-2610
URL : http://www.fugenji.com
メール : info@fugenji.com



「おのずから住めば持戒のこの山は、まことなるかな依身より依所」
伝教大師は、幼い頃から非常に優秀であったため、僧侶のエリートコースを歩み、19歳の時に国家認定の僧侶となりました。しかし、驚くことに、その3ヶ月後に全てを捨てて、比叡山に入山しました。

「依身より依所」

春を迎え、新緑が瑞々しく、夏が待ち遠しい季節となりました。四季の移り変わりを感ずる度に「日本人で良かった」と感慨に浸ります。日本は世界一の長寿国でもありますが、それは、どうやらこの四季の豊かさの一つの要因として考えられるとのこと。仏教の真理でもあります「諸行

無常」を季節毎に感じる事が出来るためです。その変化こそ人間の刺激となり、衣食住の変化にもつながり、常に工夫する民族となり長生き出来るようになったとのことです。季節の変わり目に感謝しながら、日々工夫をして生きていきたいものです。さて、今回は伝教大師最澄の御言葉をご紹介します。伝教大師は比叡山で修行をすることについて、次のような言葉を残しております。

「依身より依所」とは、つまり、人間は弱い存在であるため自分自身の心持ちよりも、環境を調えることの方が重要である、と言うことになりま。この言葉を、かの伝教大師が仰った、というところに大きな意味を感じます。どれも決意が固く、強い意思を持っていてる人でも、環境によって左右され、易きに流れてしま。だからこそ、身よりも所を調える。そうすることによって、修行に励むことも出来、研鑽することも出来る。その結果、目標を達成することが出来る、ということなのでしょう。伝教大師が都に行って天皇と会って、また比叡山に帰り修行をするという繰り返しの修行をする。これは、比叡山を修練道場と捉えていたことが覗えます。人は、どうしても自分に甘く、易きに流れてしまうもの。境を自分自身が用意する、ということも重要になるのだ、と伝教大師の御言葉と生き方から学ぶことが出来ます。

比叡山「どこどんな所？」

今回は、天台宗の総本山でもあります比叡山延暦寺について書くことにいたします。皆様は、比叡山には行かれたことはありますか。比叡山は滋賀県に位置し、京都から少々距離があるので、中々行く機会がない場所かもしれません。ですが、歴史的にも宗教的にも、比叡山の担う役割は非常に大きく、永く多くの方の拠り所となっております。今回は、そんな比叡山の特徴を3つにまとめて特集してまいります。

1. 日本仏教の母山

比叡山は日本仏教の母山とも総合大学とも言われております。母山たる所以としては、各宗派の開祖の多くが、この比叡山で修行をされたためです。浄土宗、浄土真宗、日蓮宗、曹洞宗、臨済宗、時宗などの鎌倉時代の開祖です。彼らは、時代の変遷や山内組織の頹廃などを見て自宗派を確立しました。それは同時に比叡山には彼らの基盤となるだけの教えや修行法があったことを示しております。各開祖たちは、その教えを孵化されて日本仏教の繁栄に寄与されました。その母胎が比叡山であったということは、宗派に限らず多くの僧侶や信徒が比叡山にはお参りにいらっしやる所以ともなっております。

2. 修行道場

次に、比叡山の特徴としては「修行」が挙げられます。千年以上の伝統を誇る修行が今なお続いております。有名な修行と言えば、9日間「飲まず、食わず、寝ず、横にならず」という過酷な行が組み込まれている千日回峰行。十二年間山に籠もり続けて伝教大師の御廟の世話をする十二年籠山行などが挙げられます。更に、「論湿寒貧」と言われるほど、比叡山は論議(学問)が盛んで、湿気が多く、身が凍てつく寒さで、清貧な場所であるとされ、修行にはうってつけの場所でもあります。観光寺院とは異なる修行道場としての空気に触れることができます。

3. 山全体がお寺

実は延暦寺という建物のお寺はございません。比叡山自体がひとつの延暦寺というお寺なのです。比叡山は、三塔十六谷から編成されております。各塔や各お堂には、それぞれの教えが凝縮されており、山を廻ることによって天台宗の教えと世界観を体験することが出来ます。なによりも山自体がお寺であるが故の清らかな空気を感ずることが出来ます。



比叡山延暦寺

論もそもそ 教仏



そもそも、戒名とはなにか

戒名とは、平たく言えば僧侶としての名前です。そのため法名とも言います。ですので、僧侶は自身の名前が戒名になります。また、実は、この一般の方が戒名(法名)を授かるという風習は日本独自に発展を遂げたものです。浄土思想という、死後は極楽浄土に往生するという信仰が盛んになった際に、死後に阿弥陀様のいらっしゃる浄土で幸せな暮らしをするためには、僧侶として弟子入りする必要があったのです。また、キリシタンと区別する意味でも、戒名を授けることが広がったとも言われています。

今日まで続くこの風習の意味を考えますと、大乘仏教の根幹である「悉皆成仏(みなほとけ)」ということを意味していると考えられます。亡くなられた祖先は、仏となって私たちを見護ってくれています。その1つの象徴として、娑婆世界を生きた名前ではなく、この戒名によって実感することが出来るのではないのでしょうか。そのため、葬儀は、故人を仏として捉える儀式でもあると言えます。

Info

1. 春季慰霊法要

毎年、東京都慰霊堂で実施しています東京大空襲・関東大震災の慰霊法要に出仕しました。



2. おてらおやつクラブ

頂いたお供物をお下がりとして、片親の家庭に届けるおやつクラブを発送しました。お手紙には、お子さんが大変喜んでいたとのことでした!



3. 参道が綺麗になりました

段差が多かった参道を一部改修工事し、お参りしやすいように致しました。泥はけもよくなりました! 今後、徐々に全て改修するつもりです。



4. 客殿エアコンを一新しました

客殿も落慶して20年が経ち、エアコンも耐用年数を過ぎましたので全部屋一新いたしました。



第一回 「御御(おみ)」のいろいろ

ミョウガタケ、花ミョウガと夏ミョウガの時期になりました。豆腐や素麺などの薬味としてはもちろんですが、味噌汁の具としても美味しいものですね。

さて、この味噌汁ですが、「(御)味噌汁」という呼び名のほかにも「おみおつけ」という言い方をすることがあります。「おみおつけ」については、もと女房詞からではないかという話を以前、お彼岸の折にいたしました。この「おみおつけ」について、もう少し詳しく見てみましょう。

「おみおつけ」とは、漢字で書けば「御御御付け」となり、「おつけ」の上に接頭語の「御御(おみ)」が付いた形とも、味噌の女性語とも言われます。ほかに「御御(おみ)」の付く例を探してみますと、足の尊敬語である「おみあし」がよく知られています。また、神仏に係るものでは、「おみき」「おみくじ」「おみこし」などがあげられます。いずれも接頭語「御(おみ)」に加えて「御(お)」を付けた形で、言葉をより丁寧に、敬う意を込めて用いられているものと言われています。身近な言葉にもさまざまな意味があるものですね。

檀家総代紹介②



ギター、ウクレレ、ボランティアコンサートを毎月やっております。コンサートのことは、お寺の行事の時など、いつでもご連絡ください。よろしく願います。

奥山 由行 (おくやま よしゆき)



田島 哲 [筆頭総代] (たじま さとる)

普賢寺まで自転車で来れる距離に住んでおります。お彼岸やお施餓鬼の時には受付をしております。気軽に声をかけていただければ幸いです。よろしく願います。